



まちづくりへの第1歩

大字柳沢／柳沢もりあげ隊

柳沢地区は、町南側に位置する、人口800人(230世帯)の地域です。(平成28年7月末現在)

夏まつりは、柳沢もりあげ隊のメンバーや地区役員のほか、地区民の協力もあり、子どもから大人まで笑顔があふれる賑やかなイベントになりました。



「ごろべえ餅」



柳沢もりあげ隊 代表 大津利美さん

「地区を挙げてのイベントには地区の協力が必要です。今回の夏まつりは大字柳沢からもご協力をいただき、柳沢地区の祭りとして開催しました。みんなで何かをすることが地区のことを考えるきっかけとなり、柳沢の活性化につながるのではないかと思います。これからも柳沢の夏の恒例行事として継続していきたいと思います」

「柳沢もりあげ隊の皆さんからこういった企画の提案があったときはとても嬉しく感じました。さっそく各地区区長に呼びかけ、地区としても喜んで協力させてもらいました。こういったイベントを通して、様々な世代の人たちが地区のことに関心を持ち、また、地区民同士のつながりがより深まったのではないかと思います」



大字柳沢 総代 鈴木憲一さん



11 28.8.15



1かぶと虫の戦いを見守るちびっこ親方。2近隣の市町から「ご当地キャラ」が応援に駆けつけました。3木登りの早さを競う木登りレース

ちびっこ親方が集合！ 全国かぶと虫相撲大会



7月18日、中山町の夏の恒例イベント「第26回全国かぶと虫相撲大会」が総合体育館で開かれ、県内外から集まった約400人のちびっこ親方たちが、自慢のかぶと虫と共に最強横綱を目指しました。

行司の「はっけよいのこった！」の声で取組が始まると、ちびっこ親方たちは、力士に見たてたかぶと虫に向かって「頑張れ！」「いけ！」と声援を送り、取組の様子を見守りました。なかなか動かなかつたり、急に方向転換をして下に降りていってしまうなど、期待に反した動きをするかぶと虫に悪戦苦闘するちびっこ親方の姿や、残り数秒からの大逆転など見ごたえのある取組が多数あり、大人も子どもも大興奮。繰り広げられる戦いに、会場は大変な盛り上がりを見せていました。

制限時間いっぱいまで競り合う接戦を制し、「最強横綱」の称号に輝いたのは、砂押帝斗くん(山形三小・2年生)のかぶと虫「たいと丸」。帝斗くんは、「大会に出るのは初めて。みんなに見られて緊張したけれど友だちが一生懸命応援してくれて嬉しかった。ご褒美にゼリーをあげたい」とにっこり。「来年も優勝したい」と早くも来年の大会への意欲を見せていました。

他にも、木登りレースやかぶと虫リレー、会場の外ではがんばる車の展示やソフトクリームがもらえるスタンプラリーが開催されたほか、近隣の市町からご当地キャラたちが応援に駆けつけ、会場を盛り上げました。また、ミニ四駆レースの体験やバルーンアートプレゼントなども新たに加わり、取組で負けてしまい、悔しくて泣いてしまった子どもたちも、最後は笑顔でイベントを締めくくりました。



4



5



6



7

4見事優勝した砂押帝斗くんと「たいと丸」。5会場の外では、工事車両や消防車両が展示されました。6スタンプラリー参加者にはソフトクリームがプレゼントされました。7子どもたちに大人気のバルーンアート。